

# 生命科学・医学系研究実施のお知らせ

東京慈恵会医科大学倫理委員会の審査を受け、以下の研究を実施しております。

本研究に関する内容の詳細等、お知りになりたい方は下記【問い合わせ先】までご連絡ください。なお、試料・情報が本研究に用いられることについて、研究の対象となる方（もしくは代理人の方）にご了承いただけない場合は研究対象から除外いたしますので、下記【問い合わせ先】までお申し出ください。

<b>【研究課題名】</b>	肝胆膵手術における短期・長期予後に関する検討。		
1. 研究の目的と方法	本研究は、肝臓癌や胆管癌、膵臓癌などの肝胆膵外科疾患に対する肝胆膵外科手術における、年齢・性別などの身体所見、手術前後の検査結果と手術後の合併症の有無、再発の有無といった術後短期・長期予後との関係を解析することによって、術後合併症や予後規定因子を明らかにし、治療成績の改善を目指すことにあります。		
2. 研究期間	倫理委員会承認日～2025年11月30日まで、研究の実施を予定しています。		
3. 対象となる方等	肝胆膵領域の疾患の患者さんで、上記研究機関で2007年1月1日～2023年6月30日の間に葛飾医療センターにて肝切除術、膵切除術、胆管切除術を受けた方。		
4. 研究に利用する試料・情報について	(1) 試料の種類	試料は使用しません。	
	(2) 試料の取得の方法	試料は使用しないため、該当しません。	
	(3) 情報の種類	手術を受けられた患者さんの1) 術前身体所見・既往症、2) 血液検査（術前および術後）、3) 画像所見（術前および術後）、4) 手術録（術式、手術時間、出血量、輸血量など）、5) 摘出標本病理所見、6) 術後合併症情報（感染、出血、肝不全、胆汁漏、膵液漏など、入院中におこった合併症は入院診療録をもとに収集する）、7) 再発（悪性疾患の場合）・死亡情報、8) 周術期、および合併症出現時に使用した薬剤名および投与量・投与期間	
	(4) 情報の取得の方法	診療録から診療時のデータを収集します。	
5. 研究の実施体制	あなたの試料・情報は、以下の研究者が研究のために利用します。 試料・情報は、(3)の管理責任者が責任をもって、保管・管理します。		
	(1) 当施設の 研究責任者 または研究 代表者	研究機関名	東京慈恵会医科大学 外科講座
		氏名	薄葉輝之
	(2) 当施設の長	東京慈恵会医科大学 学長 松藤千弥	
	(3) 当施設の 試料・情報の 管理責任者	(1)の研究責任者と同じ	
(4) 共同で研究 を実施する 施設とその 責任者	この研究では共同で研究を実施する機関はありません。		

<p>6. 試料・情報を他機関とやり取りすることについて</p>	<p>この研究では、外部の機関と試料・情報をやり取りすることはありません。 試料・情報の利用開始予定日：2018年12月頃～</p>
<p><b>【問い合わせ先】</b></p>	<p>機関名：東京慈恵会医科大学 外科講座 研究責任者：准教授 薄葉 輝之（うすば てるゆき） 電話番号：03-3603-2111（内線 5960） 対応時間：平日 9：00 ～ 17：00</p>

※利用する情報等からは、お名前、住所、電話番号、カルテ番号など、個人を特定できる情報は削除いたします。  
研究成果を学会や論文で発表する際も個人が特定できる情報は利用いたしません。